

NIRECO
Trusted Partner

株式会社ニレコ

2022年3月期
決算説明資料

(証券コード：6863)
2022年5月16日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

業績推移

21/3期

22/3期

23/3期計画

実績及び計画

受注高 7,447百万円
(前期比▲10%)

受注高 9,579百万円
(前期比+29%)

受注高 10,000百万円
(前期比+4%)

売上高 7,899百万円
(前期比▲10%)

売上高 8,117百万円
(前期比+3%)

売上高 9,200百万円
(前期比+13%)

営業利益 600百万円
(前期比▲37%)

営業利益 563百万円
(前期比▲6%)

営業利益 800百万円
(前期比+42%)

重点テーマ

- ◆ 市場の拡大
- ◆ 技術の進化
- ◆ 株主還元

いかなる環境下においても成長できる企業グループの実現

事業基盤の拡大強化

競争優位性の向上

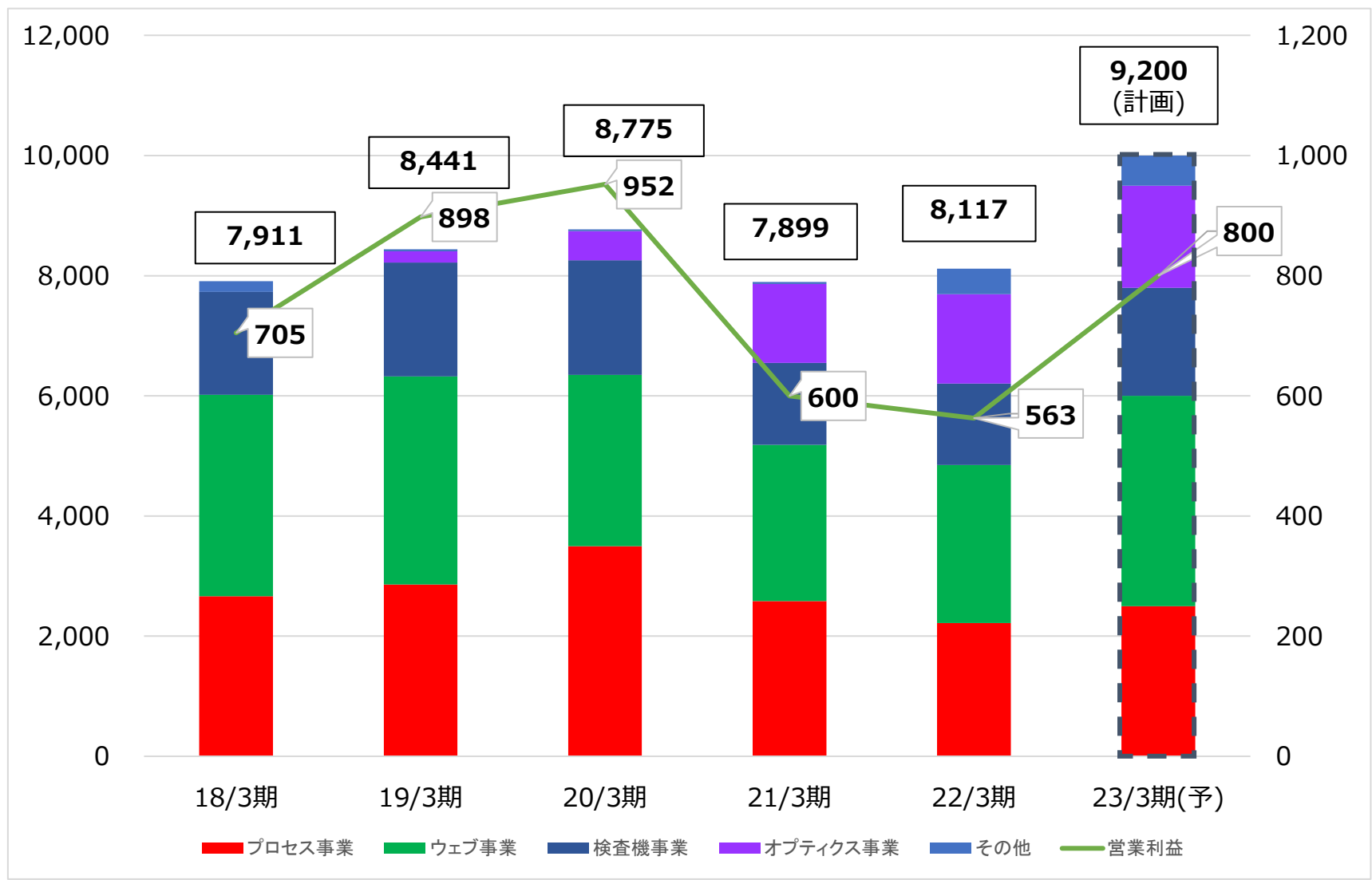
22/3期の取組み

- オプティクス事業の強化
- 代替部材採用・調達ルート開拓等による調達適正化
- M&A実施による競争力・開発力強化

連結配当性向 40%以上かつ連結自己資本配当率 (DOE) 2%以上を目標

業績推移

(単位：百万円)



1. 前期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて

1. 前期実績 (2021/4 – 2022/3)

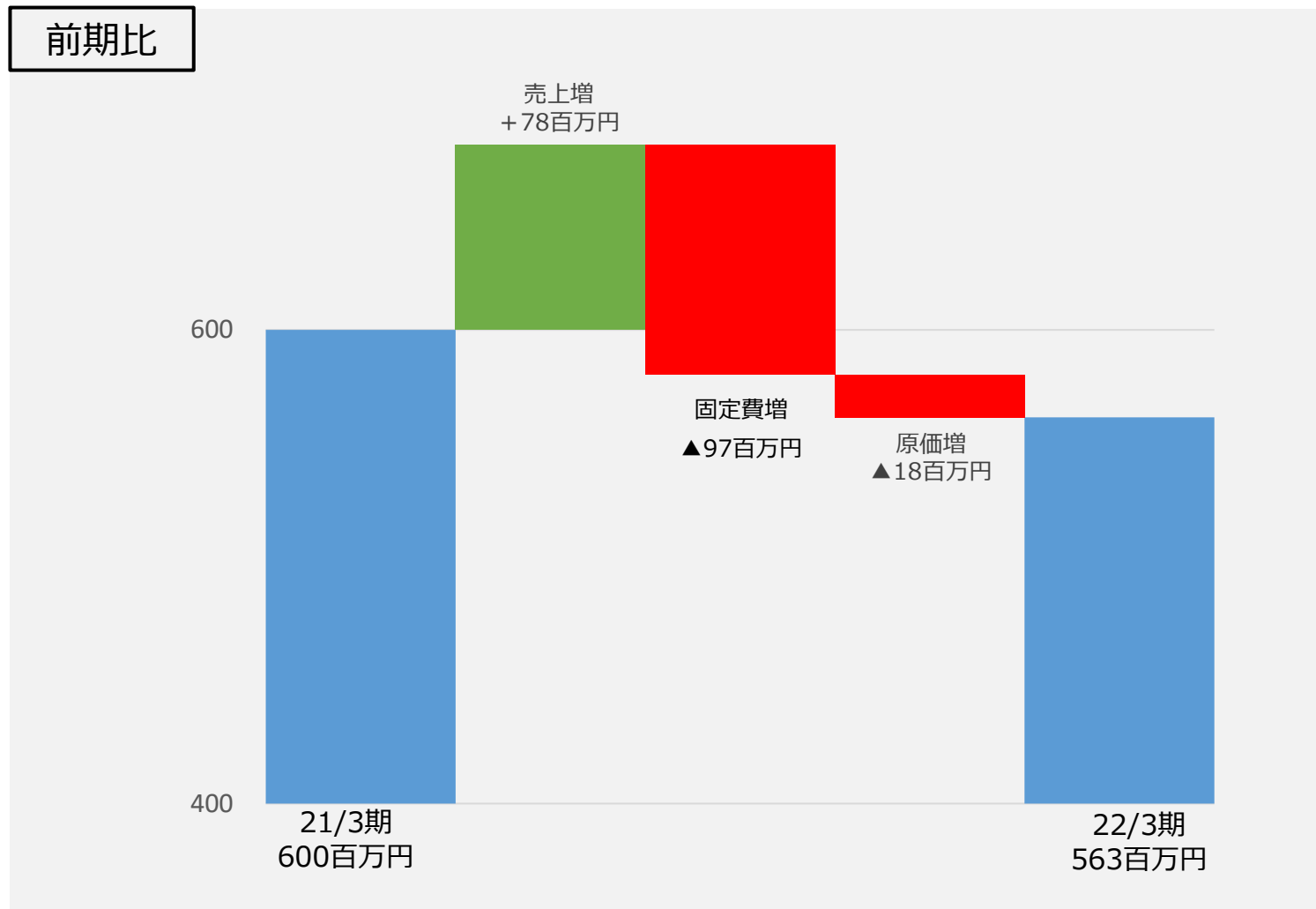
連結実績

- 経済活動回復により、受注高は回復
- サプライチェーンの混乱などの影響から、売上高の伸びは限定的となった

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期		増減率	
	実績	期初計画	実績	前期比	計画比
受注高	7,447	8,800	9,579	+29%	+9%
売上高	7,899	8,500	8,117	+3%	▲4%
営業利益	600	650	563	▲6%	▲13%
営業利益率	7.6%	7.6%	6.9%	-	-
経常利益	635	700	650	+2%	▲7%
経常利益率	8.0%	8.2%	8.0%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	432	500	406	▲6%	▲19%
当期純利益率	5.5%	5.9%	5.0%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	59.06	68.22	55.41	▲6%	▲19%
受注残高	2,914	3,214	4,376	+50%	+36%

営業利益増減要因



※固定費 = 販売費及び一般管理費

プロセス事業

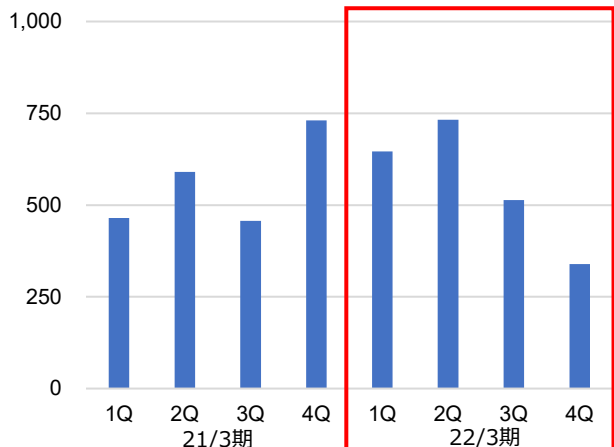
- 鉄鋼メーカーの設備投資姿勢は慎重さが続く
- 期初受注残が低水準であった影響により、売上高は対前期比で減少

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	2,242	2,600	2,232	▲0%	▲14%
売上高	2,584	2,400	2,216	▲14%	▲8%
セグメント利益	412	350	313	▲24%	▲11%
セグメント利益率	15.9%	14.6%	14.1%	-	-
受注残高	1,173	1,373	1,188	+1%	▲13%

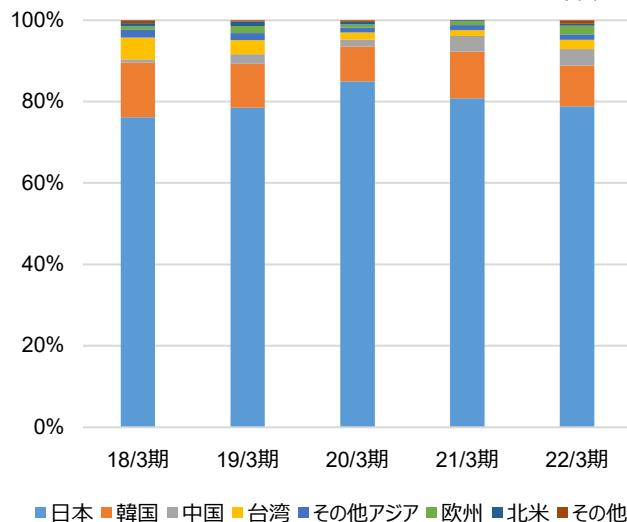
受注高推移

(単位：百万円)

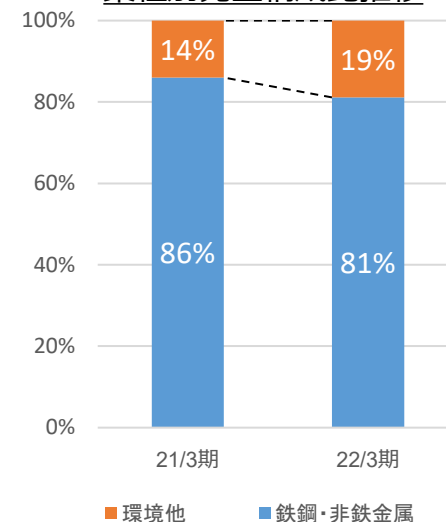


地域別売上高推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移



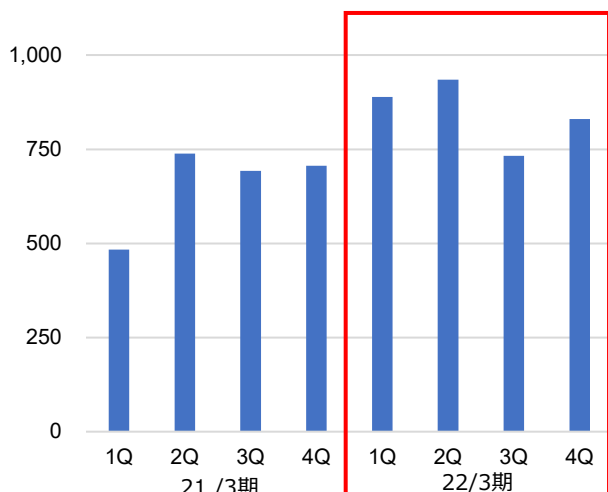
ウェブ事業

- 二次電池業界からの需要を中心に受注が大幅増
- サプライチェーンの混乱を受け、受注から出荷までの期間が長期化し、売上高伸びず (単位：百万円)

	21/3期		22/3期		増減率	
	実績	当初計画	実績	前期比	計画比	
受注高	2,620	2,850	3,387	+29%	+19%	
売上高	2,599	2,800	2,631	+1%	▲6%	
セグメント利益	291	400	230	▲21%	▲43%	
セグメント利益率	11.2%	14.3%	8.8%	-	-	
受注残高	580	630	1,336	+130%	+112%	

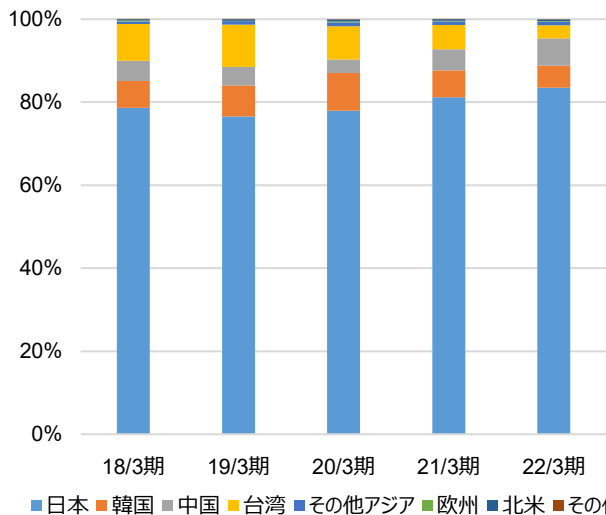
受注高推移

(単位：百万円)

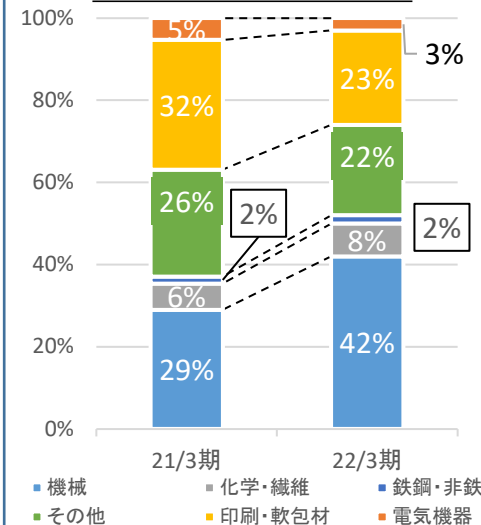


地域別売上高推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移



検査機事業

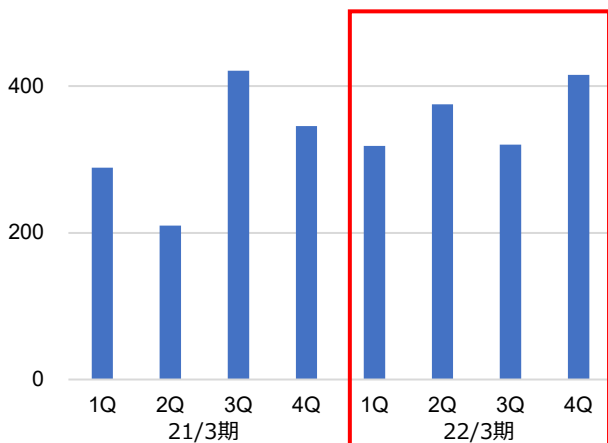
- 無地検査装置の受注・売上高は企業の設備投資回復の動きにより前期を上回る
- 農業分野向けの検査装置は大型案件減少等から前期比売上高減

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	1,265	1,900	1,429	+13%	▲25%
売上高	1,365	1,900	1,356	▲1%	▲29%
セグメント利益	▲19	150	35	-	▲77%
セグメント利益率	▲1.4%	7.9%	2.6%	-	-
受注残高	611	611	684	+12%	+12%

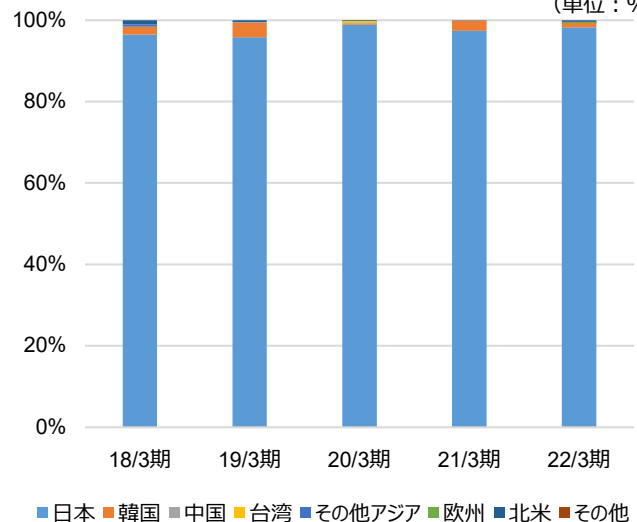
受注高推移

(単位：百万円)

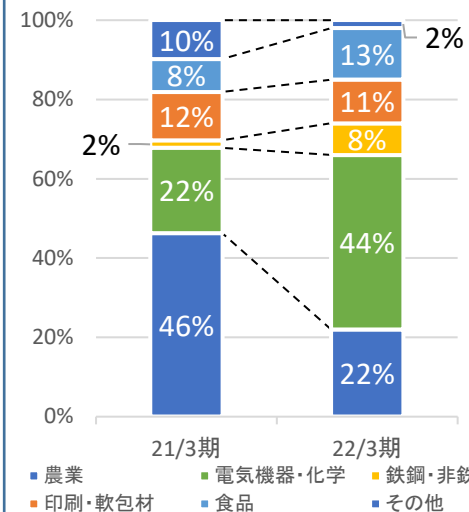


地域別売上高推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移



光学事業

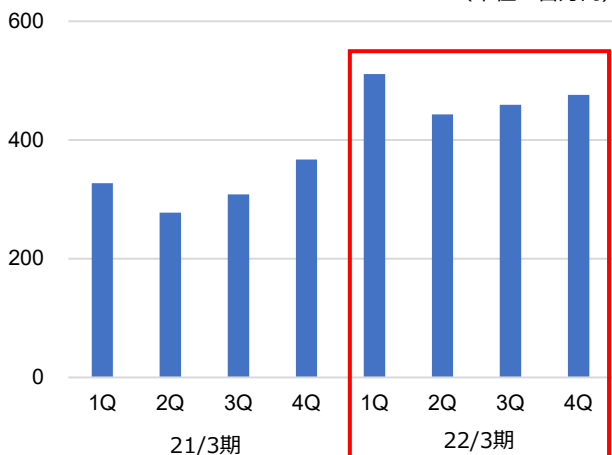
- 半導体業界の設備投資は好調維持し、受注高が大幅に増加
- 光学部品の生産能力投資も寄与し、売上高増加

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	1,280	1,450	1,888	+48%	+30%
売上高	1,313	1,400	1,489	+13%	+6%
セグメント利益	399	300	401	+1%	+34%
セグメント利益率	30.4%	21.4%	26.9%	-	-
受注残高	544	594	944	+73%	+59%

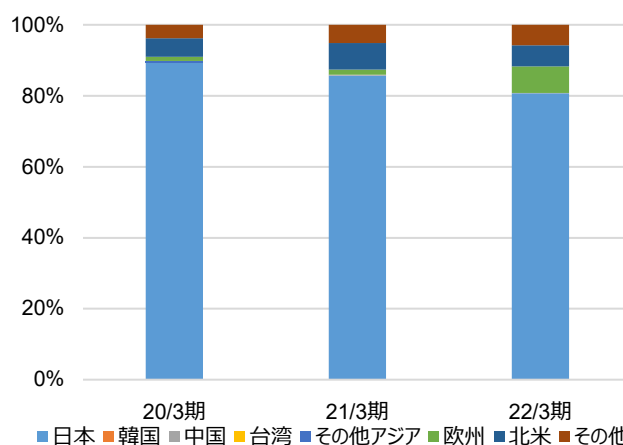
受注高推移

(単位：百万円)

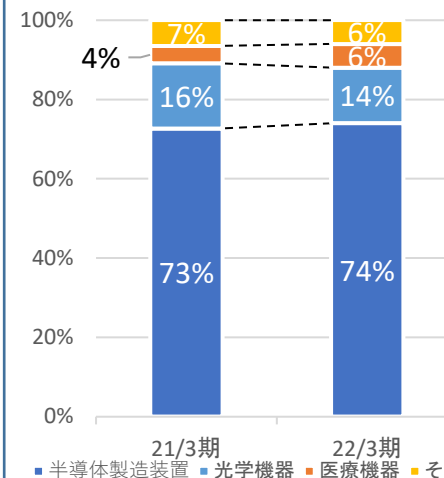


地域別売上高推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移

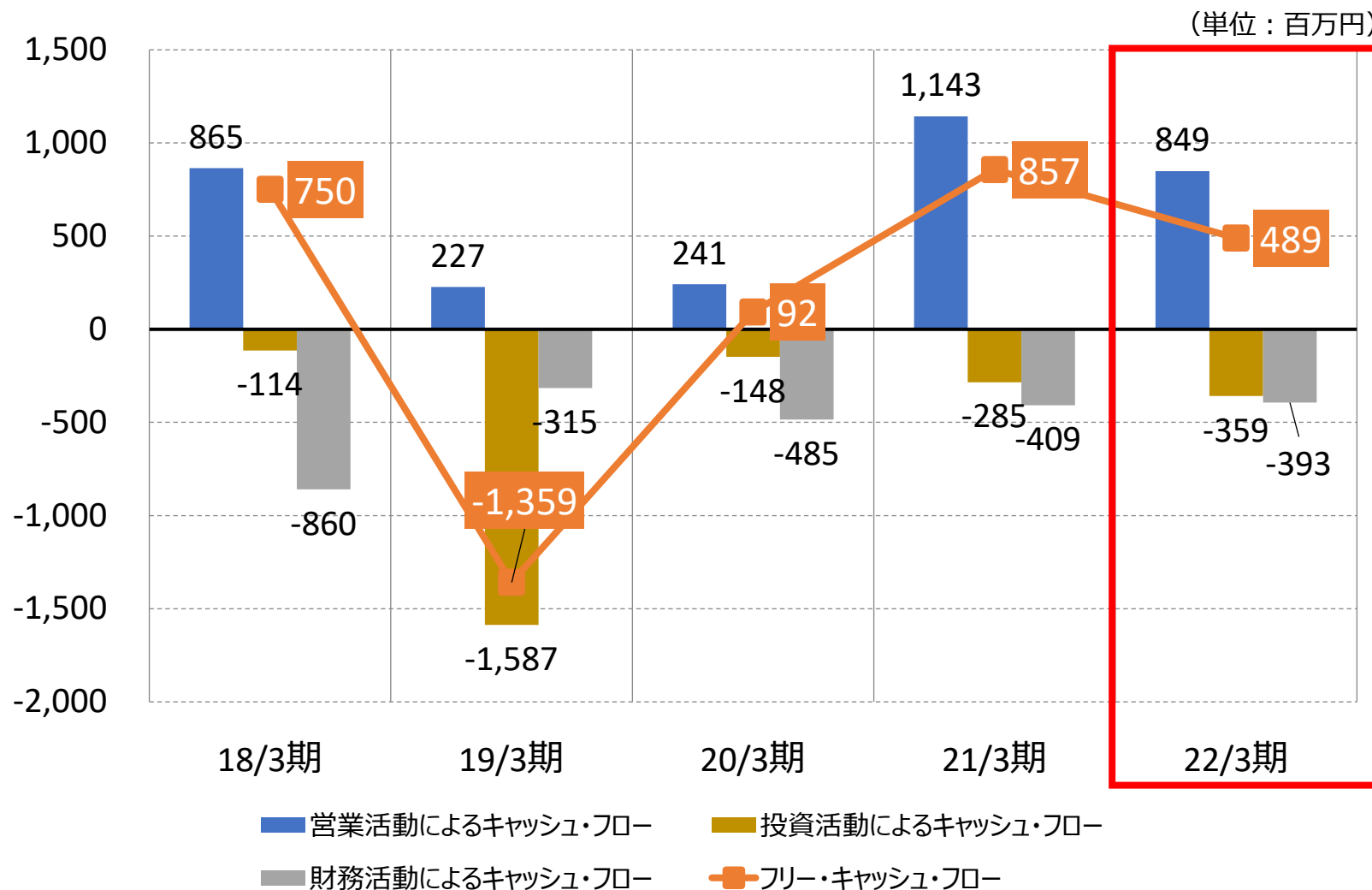


貸借対照表

(単位：百万円)

	21/3期		22/3期		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
現金・預金	4,679	30.5%	4,834	29.9%	+ 155
売上債権	3,570	23.3%	3,415	21.1%	▲ 155
棚卸資産	1,986	13.0%	2,507	15.5%	+ 520
その他流動資産	166	1.1%	136	0.8%	▲ 29
流動資産	10,403	67.9%	10,894	67.4%	+ 491
有形固定資産	2,934	19.1%	3,304	20.5%	+ 369
無形固定資産	207	1.4%	258	1.6%	+ 50
投資その他資産	1,779	11.6%	1,695	10.5%	▲ 84
固定資産	4,921	32.1%	5,258	32.6%	+ 336
資産合計	15,324	100.0%	16,152	100.0%	+ 827
買入債務	351	2.3%	610	3.8%	+ 259
その他流動負債	996	6.5%	1,157	7.2%	+ 161
流動負債	1,347	8.8%	1,768	10.9%	+ 421
固定負債	450	2.9%	533	3.3%	+ 83
負債合計	1,797	11.7%	2,301	14.2%	+ 504
純資産合計	13,527	88.3%	13,850	85.7%	+ 323
負債・純資産合計	15,324	100.0%	16,152	100.0%	+ 827

キャッシュ・フローの状況



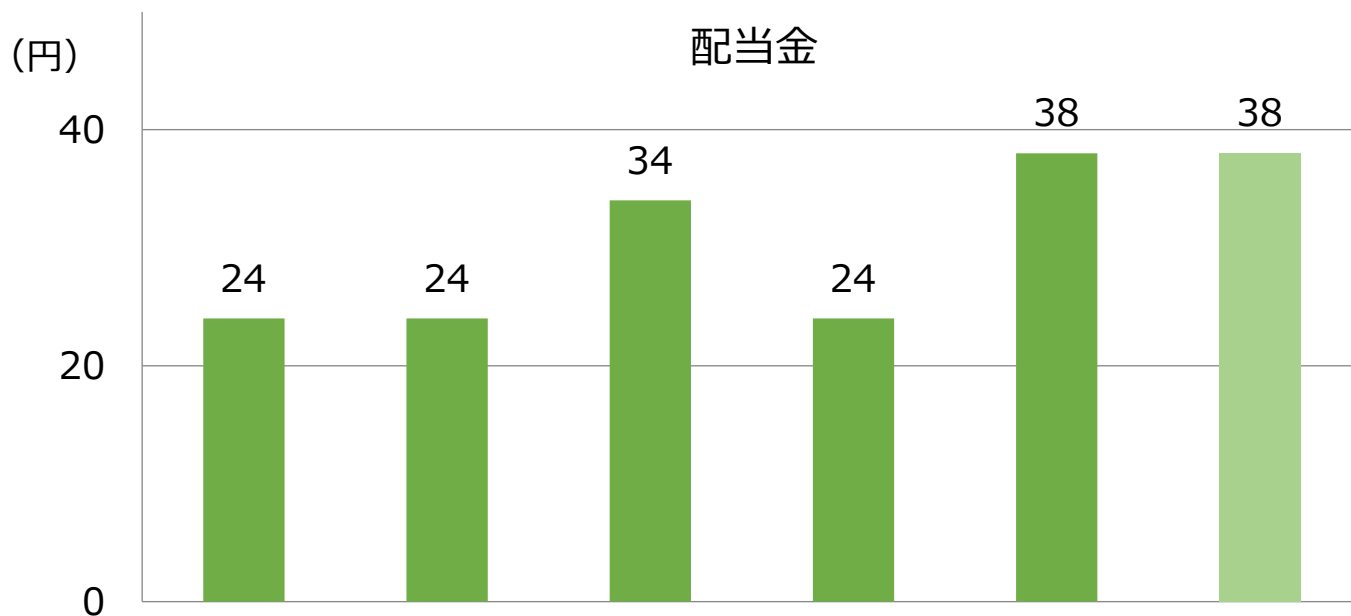
22/3期概況

営業活動によるキャッシュ・フロー：税金等調整前当期純利益（650百万円）、棚卸資産の増加（-582百万円）

投資活動によるキャッシュ・フロー：固定資産取得（-215百万円）、子会社の取得による支出（-262百万円）

株主還元について

＜基本方針＞ 連結配当性向 40%以上かつ
連結自己資本配当率（DOE）2%以上を目標



	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期 (予)
1株当たり当期純利益(円)	69.79	66.07	106.58	59.06	55.41	81.86
配当金(円)	24	24	34	24	38	38
配当性向(%)	34.4	36.3	31.9	40.6	68.6	46.4
DOE	1.5%	1.4%	2.0%	1.3%	2.0%	2.0%

2. 今期計画 (2022/4 – 2023/3)

今期計画

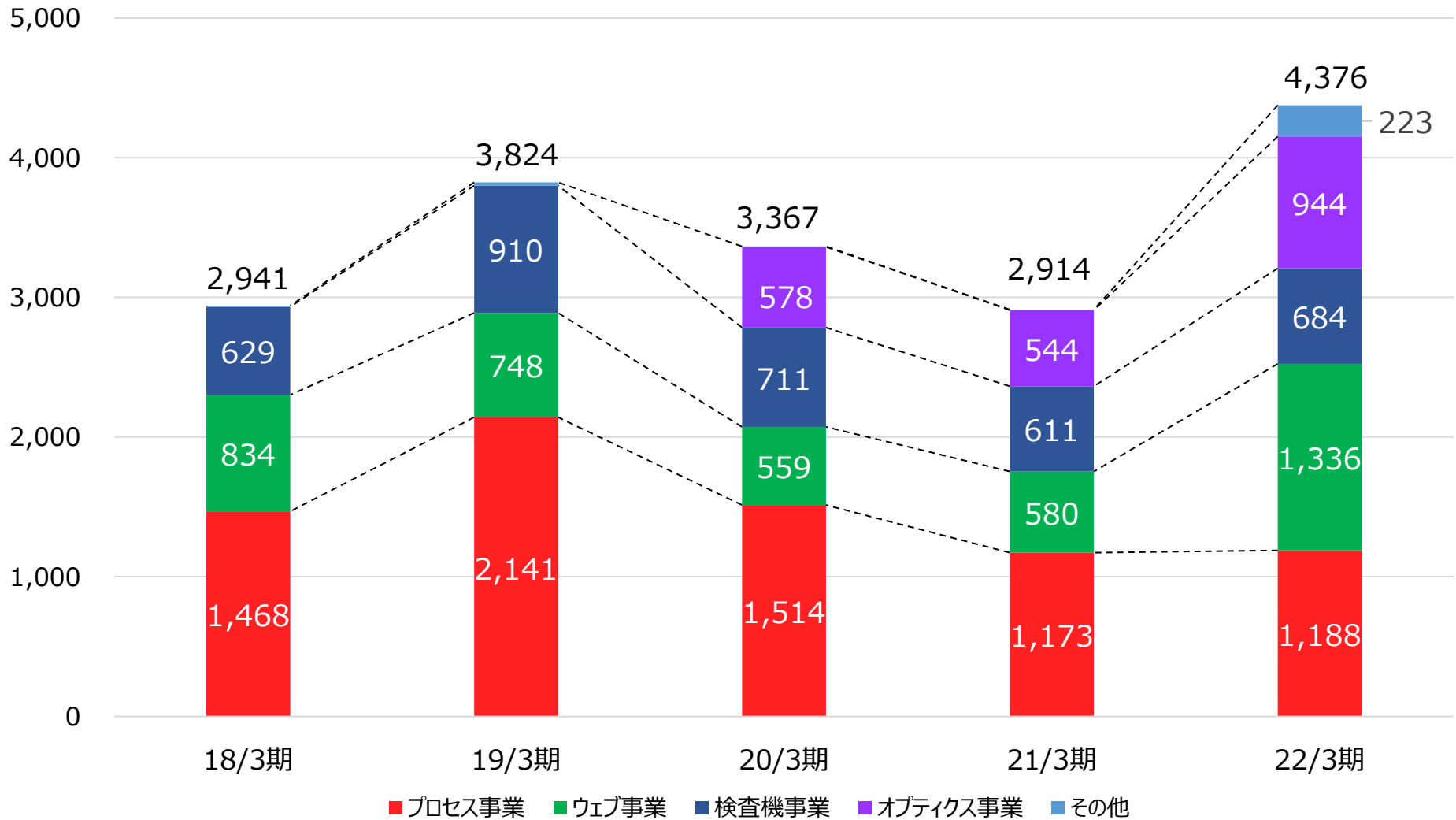
- 各分野における需要堅調。高水準の受注残高を背景に下期にかけ売上高回復を見込む

(単位：百万円)

	22/3期 実績	23/3期 計画	増減率 実績比
受注高	9,579	10,000	+4%
売上高	8,117	9,200	+13%
営業利益	563	800	+42%
営業利益率(%)	6.9%	8.7%	-
経常利益	650	860	+32%
経常利益率(%)	8.0%	9.3%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	406	600	+48%
当期純利益率(%)	5.0%	6.5%	-
1株当たり当期純利益(円)	55.41	81.86	+48%
受注残高	4,376	5,176	+18%

受注残高状況推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：プロセス事業

国内鉄鋼市場

- 鉄鋼メーカーは電気自動車用高品位鋼生産に注力
- 鉄鋼メーカーの設備投資の回復



- 鉄鋼メーカーの高品位鋼向け設備投資や非鉄金属メーカーへの販売活動に注力

海外鉄鋼市場

- ウクライナ問題や中国の生産調整などもあり、世界的に鉄鋼生産能力に制約

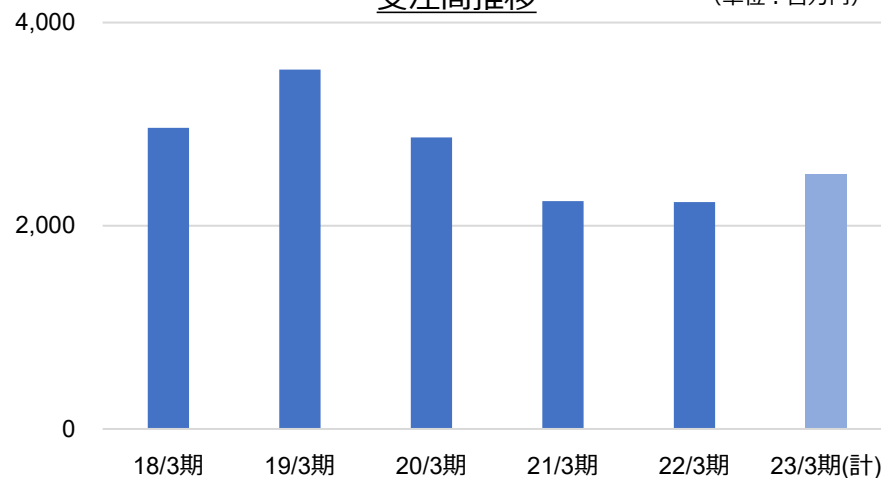


- 海外販売体制の強化
- 海外子会社での生産・サービス強化

	22/3期 実績	23/3期 計画
受注高	2,232	2,500
売上高	2,216	2,500
セグメント利益	313	340
セグメント利益率	14.1%	13.6%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：ウェブ事業

電子部品・高機能フィルム市場

- 二次電池向け設備投資は好調維持
 - サプライチェーンの混乱により納期長期化
- ↓
- 二次電池向け設備投資需要引き続き取り込み
 - 代替部品活用等により納期対応注力
 - コストダウン等による利益率改善

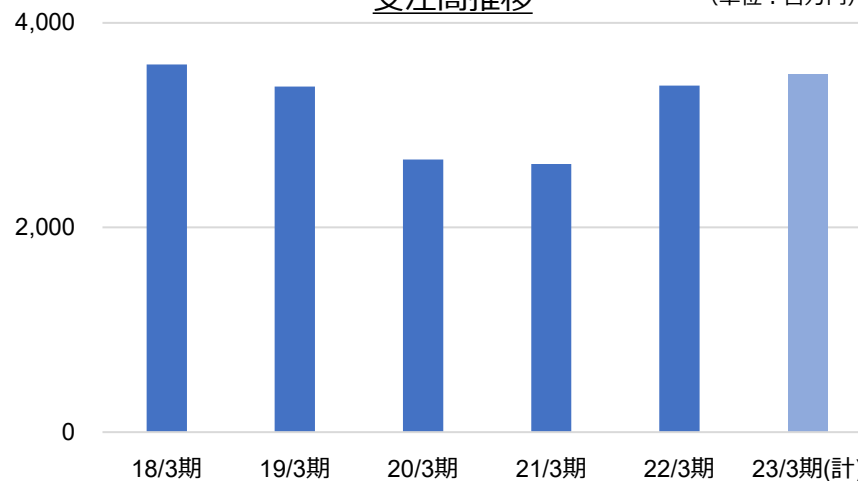
紙・印刷・軟包材市場

- 紙・印刷向け需要は縮小傾向継続
 - 環境意識の高まりに伴い包装材の効率的な利用が注目される
- ↓
- ウェブ制御による包装材節減など環境を意識した設備投資に向けた販売活動
 - 業務提携先であるE+L社製品の販売活動注力

	22/3期 実績	23/3期 計画
受注高	3,387	3,500
売上高	2,631	2,900
セグメント利益	230	340
セグメント利益率	8.8%	11.7%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：検査機事業

電子部品・高機能フィルム市場

- 各メーカーの検査設備投資は回復の動き
- 二次電池用途や金属箔、フィルム等ニーズ多様化
- 部材の遅れなどから納期長期化



- 高度化する検査ニーズへの対応
- 代替部品活用等により納期対応注力

食品市場

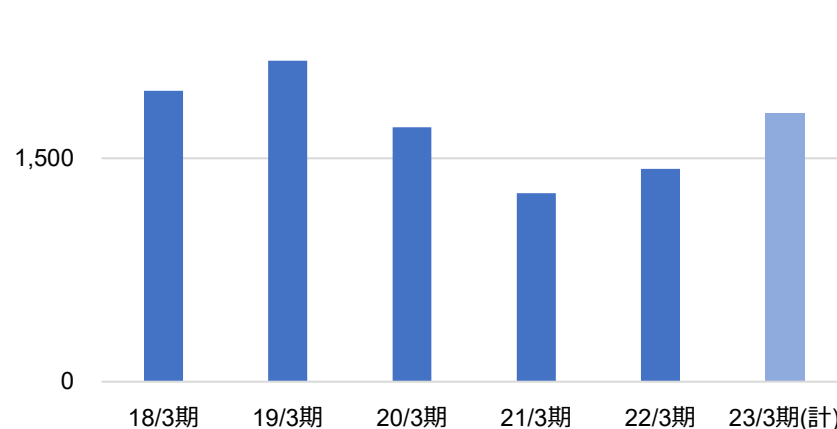
- 農業分野向け検査装置需要は底堅い
- 各種加工食品向けでの機械検査需要拡大



- 農業分野向け新製品開発注力
- 加工食品検査ニーズへの対応強化

受注高推移

(単位：百万円)



	22/3期 実績	23/3期 計画
受注高	1,429	1,800
売上高	1,356	1,650
セグメント利益	35	170
セグメント利益率	2.6%	10.3%

対象市場の状況と施策：オプティクス事業

光学部品市場

- 半導体検査装置需要は引き続き強い
- 光学部品は海外含め幅広い需要あり



- 半導体分野の他、医療、研究開発分野などでの光学部品需要の着実な取り込み
- 設計・加工技術の強みを活かした新規用途開拓

レーザー関連製品等

- 半導体検査や医療用途向けニーズ強い

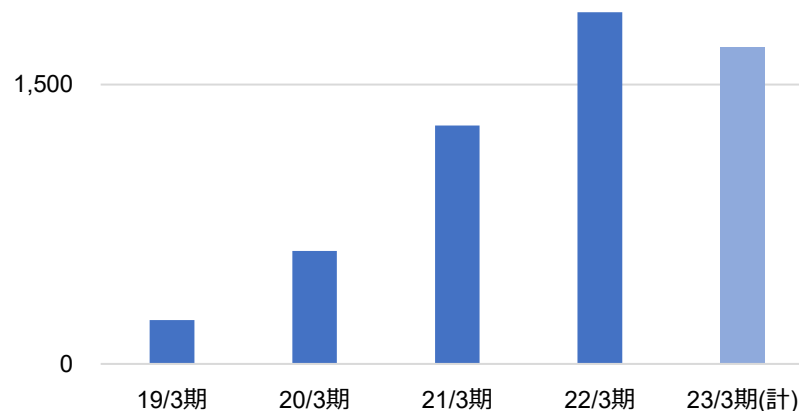


- 強みを持つ半導体検査や医療診断分野向けに加え、製品特徴を活かした新規用途開発

	22/3期 実績	23/3期 計画
受注高	1,888	1,700
売上高	1,489	1,650
セグメント利益	401	400
セグメント利益率	26.9%	24.2%

受注高推移

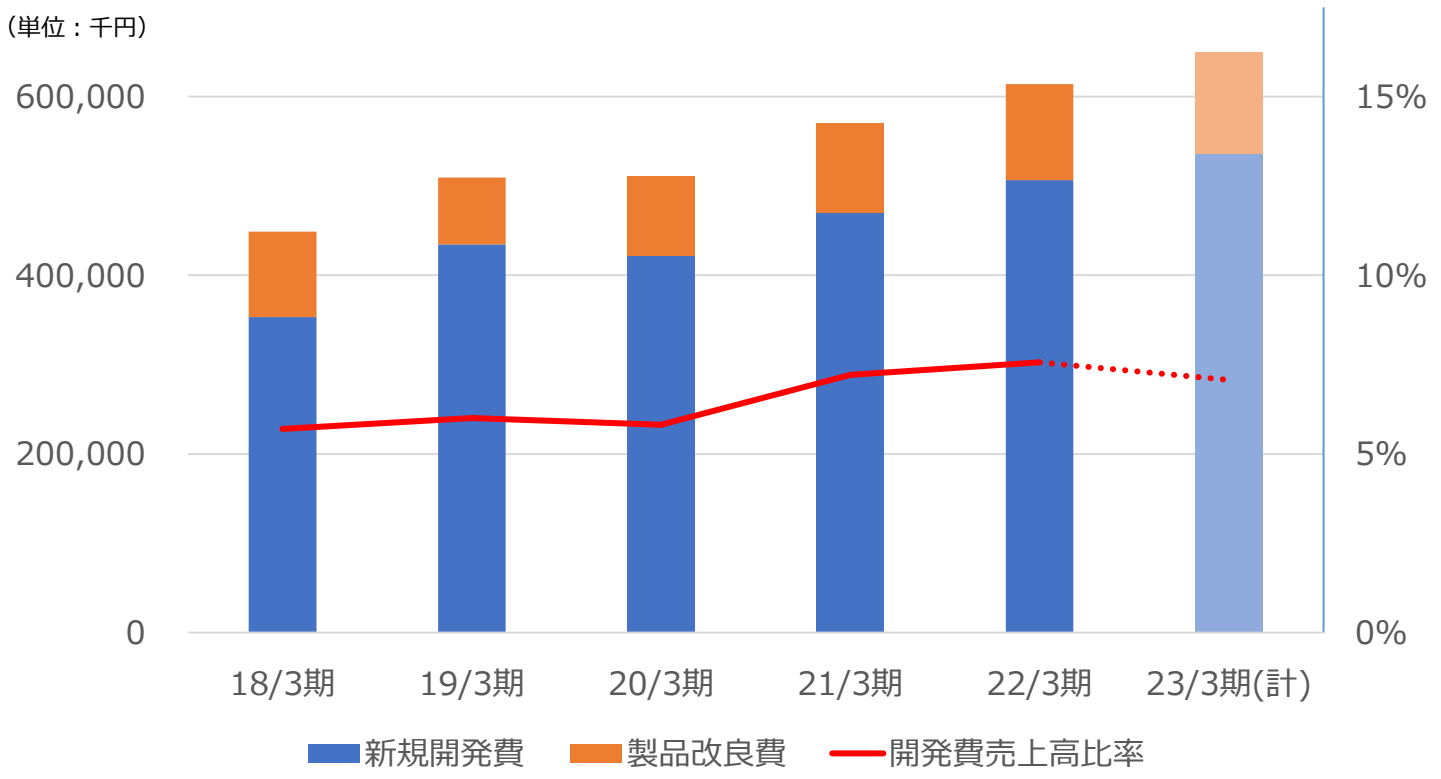
(単位：百万円)



R&D

➤ 強みを持つ技術を活用し、新たな収益源の創出に向け、開発案件への取組みを加速

- 主な開発テーマ
- 次世代画像検査装置の開発
 - レーザー技術による製品開発
 - 光応用検査・計測装置の開発



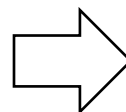
3. 持続的成長に向けて

持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる企業グループの実現

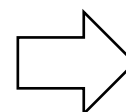
市場の拡大

- 海外展開の推進強化
- 検査機事業の強化・オプティクス事業の強化
- 新製品開発による新事業分野の開拓

**事業基盤の拡大強化**

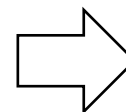
技術の進化

- 画像解析技術の高機能化による製品展開
- 光応用技術による製品開発

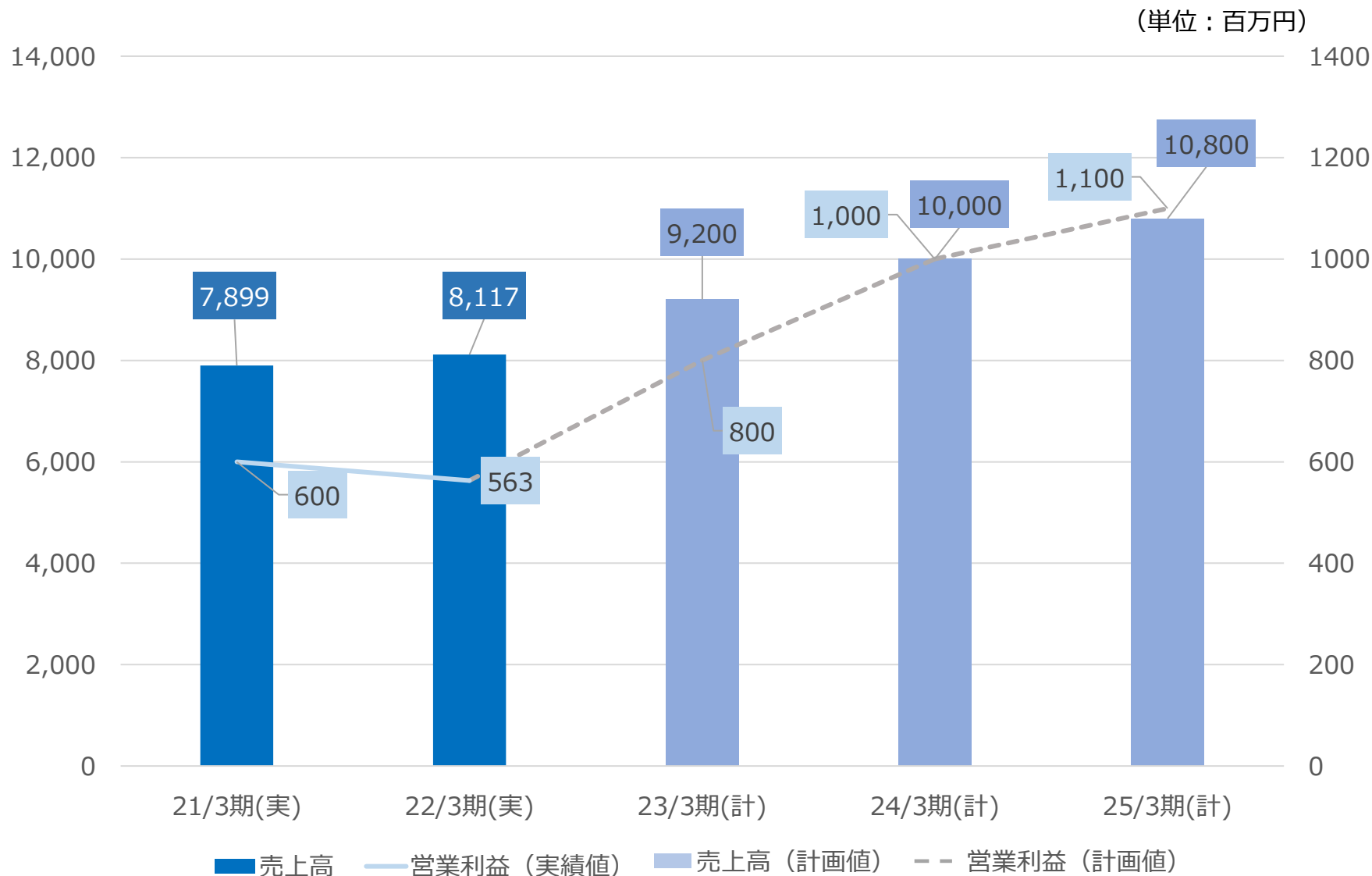
**競争優位性の向上**

経営体質の強化

- 既存事業の収益改善
- グループ・外部との連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資

**経営基盤の強化**

中期目標



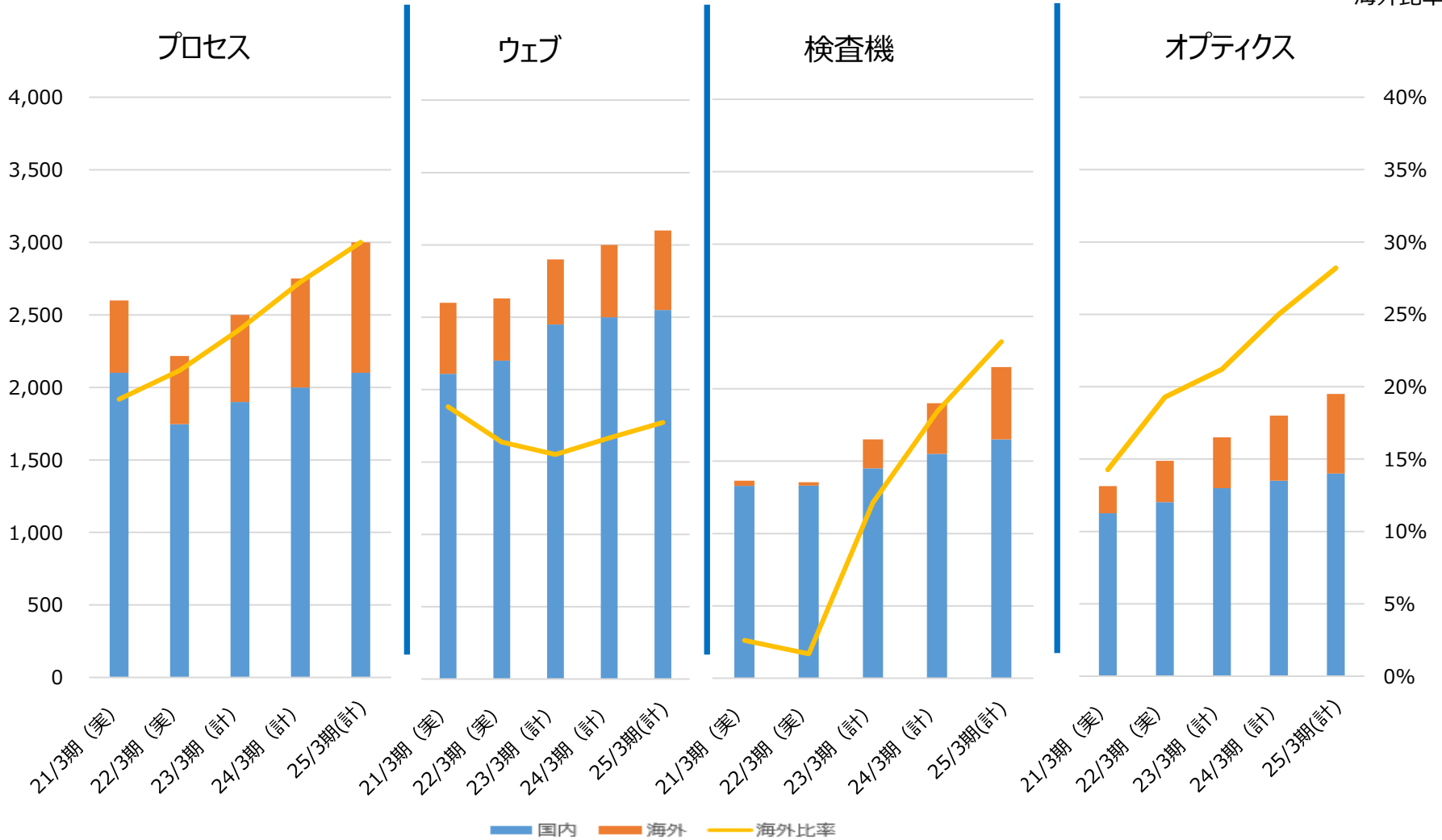
※外部環境の変化と当社グループの拡大等の事業前提変化に継続的に対応するため、今後は3年間の目標を記載する形に変更。

中期目標

(セグメント別国内外売上)

売上高 (百万円)

海外比率



参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所スタンダード
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	453名*
連結売上高	8,117百万円*

* 2022年3月期連結

沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所に上場
- 2013年 : 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）上場に移行
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : Nireco International GmbHを設立（ドイツ）
株式会社光学技研を子会社化
- 2021年 : 西武電機株式会社を子会社化
- 2022年 : 東京証券取引所の市場再編に伴い、スタンダード市場へ移行

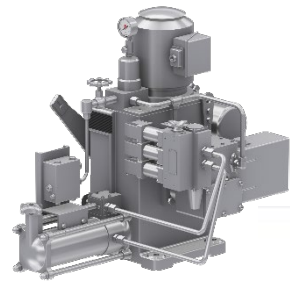
経営理念

「技術と信頼」

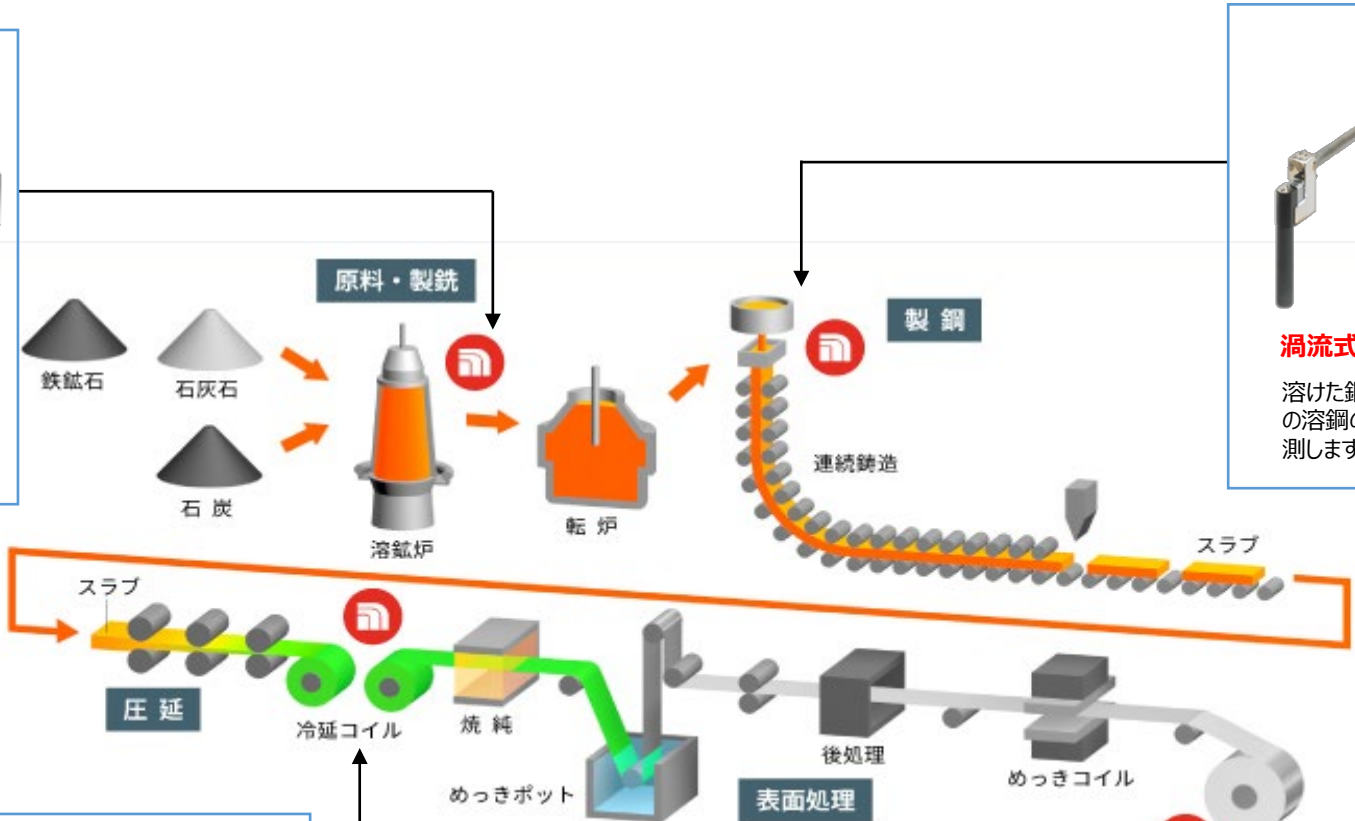
われわれは、制御、計測、検査の技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。さらに、パートナーシップにより生み出した価値を広く社会に応用することで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

プロセス事業

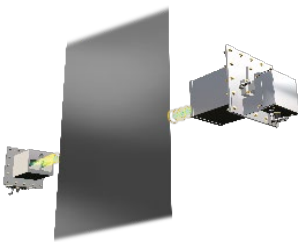
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業等あらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス制御装置
溶鉱炉内の圧力、流量、温度等の制御を行っています。



渦流式溶鋼レベル計
溶けた鋼を型に流し込む際の溶鋼の表面の位置を計測します。



耳端位置制御装置
製造ラインを流れるスラブ（鋼材）の蛇行制御を行っています。



自動識別印字装置
できあがった金属素材に様々な情報を印字しています。

ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔等薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置等を扱う事業です。



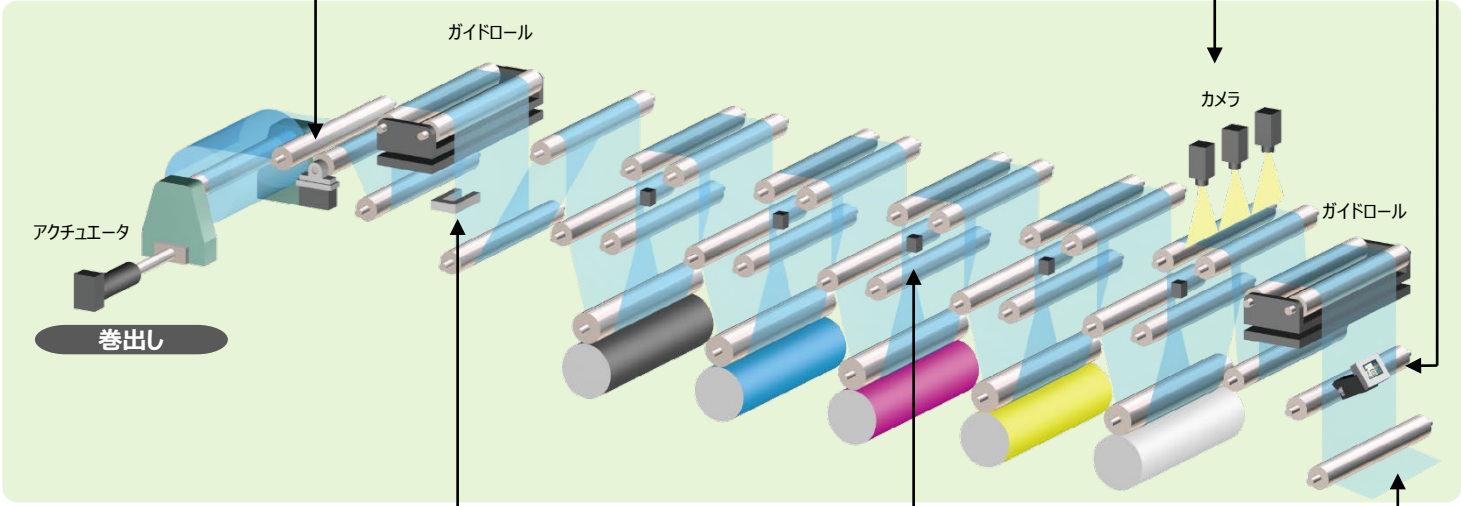
張力制御装置
ウェブの張力を一定に保ちしわ・たるみの発生を防ぎます。



印刷品質検査装置
印刷ラインの欠点を検出します。



**耳端位置制御装置
（絵柄基準）**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



**耳端位置制御装置
（エッジ・センター基準）**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



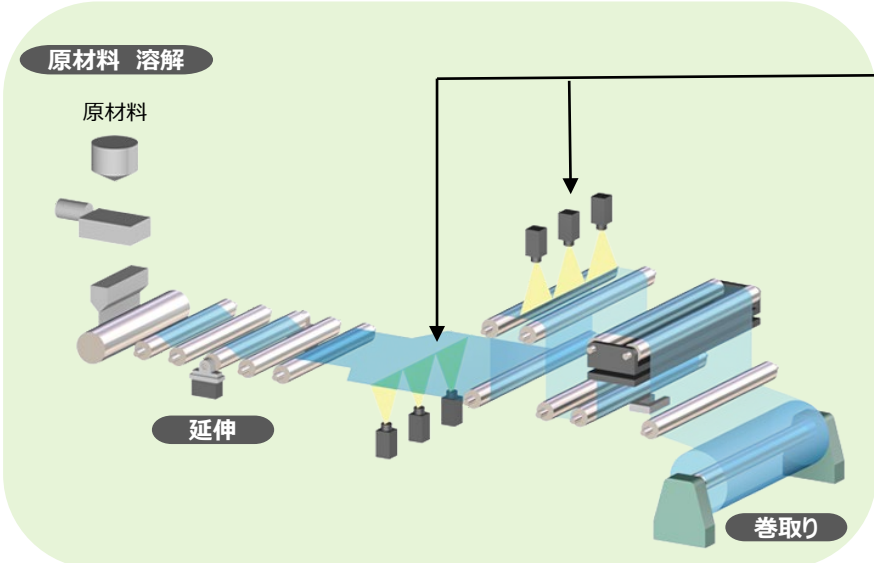
自動見当制御装置
グラビア印刷の縦横見当を自動制御します。



糊付け装置
様々な製品パターンに応じて糊付けを行います。

検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。

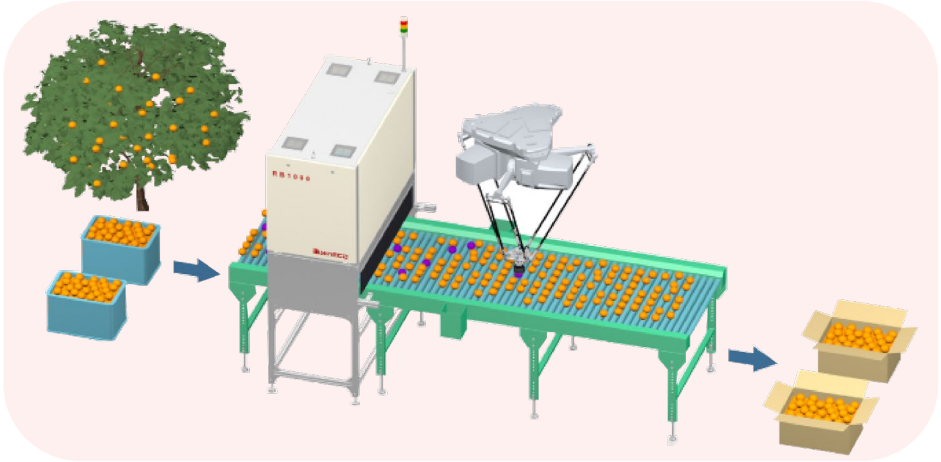


無地検査装置

あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）等を検査します。

選果装置

農産物の品質を外観（キズ、腐敗、サイズ等）、あるいは内部品質（糖度、酸度）から瞬時に非破壊で判別します。



オプティクス事業

長年に渡り培ってきたレーザー関連製品やグループ会社の株式会社光学技研が取り扱う高度な技術を必要とする特殊な光学部品を扱う事業です。

➤ 主要用途：

- 半導体検査装置
- 光学機器
- 医療機器

光学部品



非線形光学結晶

半導体検査装置等で用いられる紫外光発生に適したCLBO素子を提供し、高い評価を受けています。

偏光子

特定の光を取り出すことのできる偏光子を、学術研究分野、光学機器分野、レーザー用途等、幅広く提供しています。



レーザー関連製品



深紫外ファイバーレーザー Cygnus

深紫外ファイバーレーザーを用いたマスク検査を実現します。定期的なメンテナンスは年1回と安定的な性能を有しています。

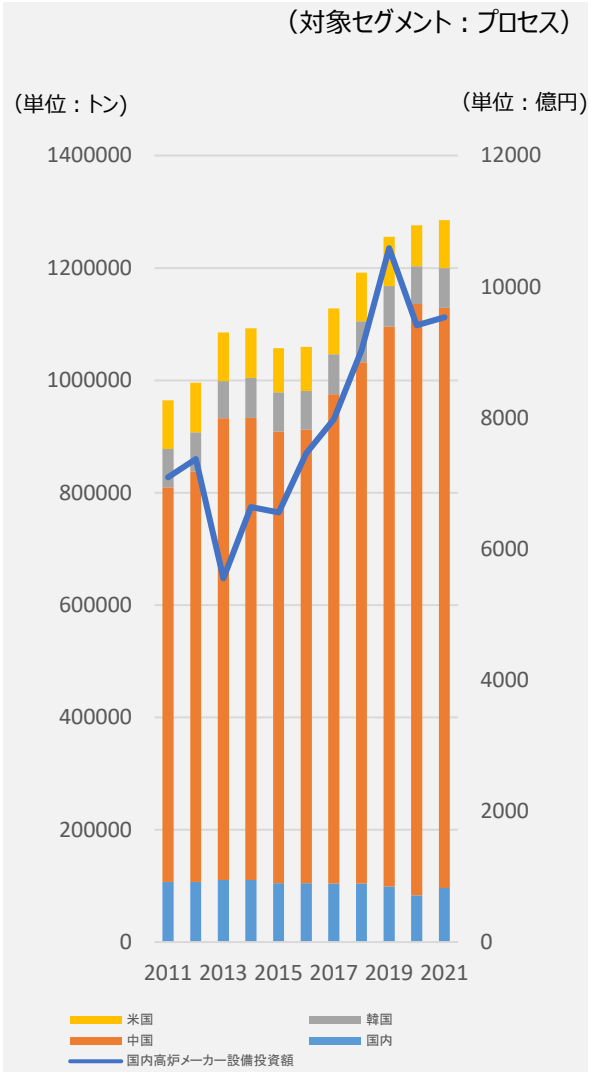


レーザー装置 HR-G10

高出力グリーンレーザーを用い、シリコンウエハへの加工、金属へのマーキング、樹脂内のマーキング、薄膜加工等、多用途に用いることが可能です。

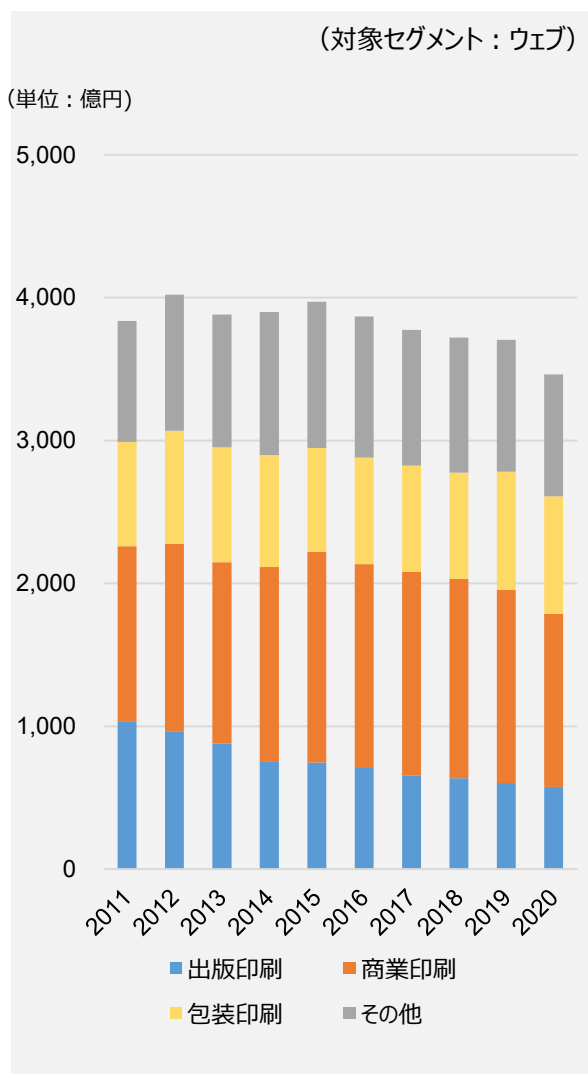
各事業市場動向

地域別粗鋼生産量及び 国内高炉大手設備投資額の推移



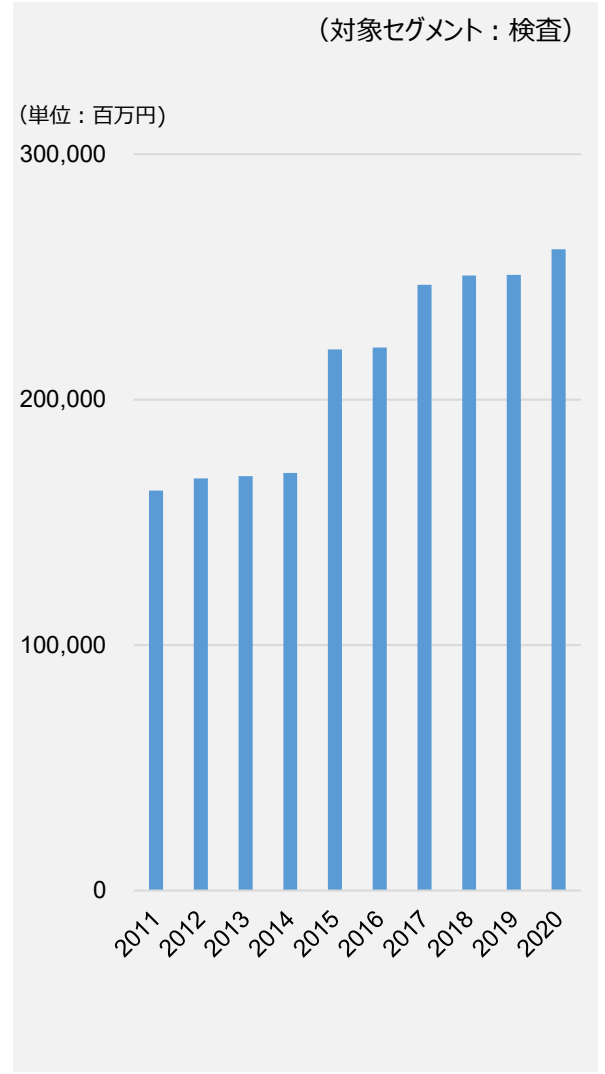
[出展：日本鉄鋼連盟]

印刷市場規模の推移



[出展：工業統計、生産動態統計より当社集計]

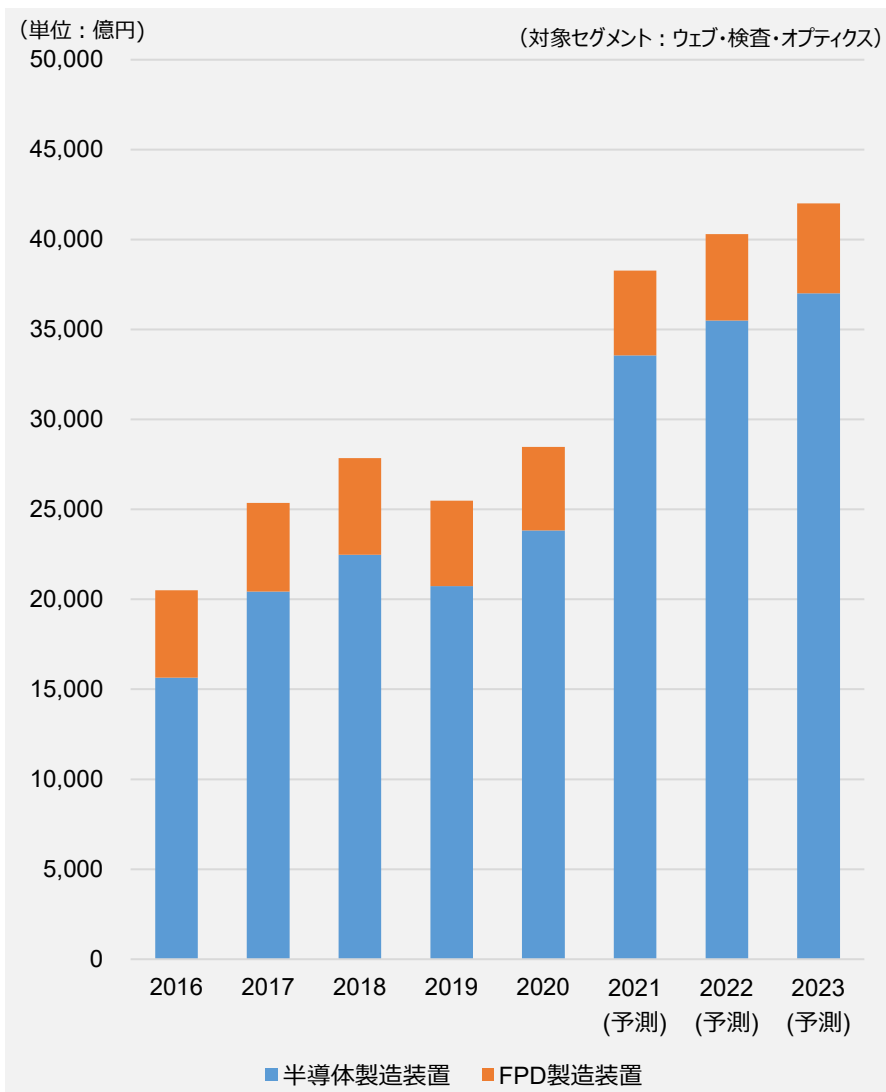
食品機械国内販売額の推移 (除、加工機械)



[出展：日本食品機械工業会資料]

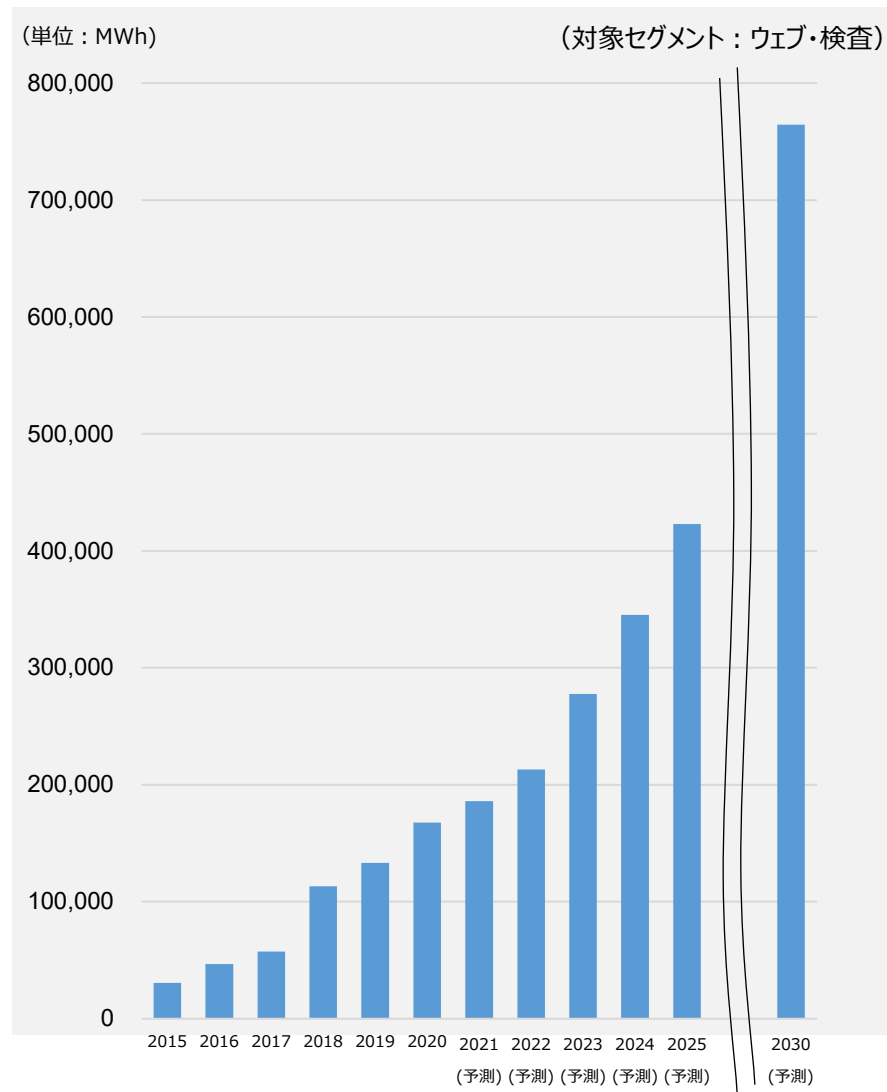
各事業市場動向

半導体・FPD製造装置需要予測



[出展：日本半導体製造装置協会]

車載用Lib世界市場予測



[出展：矢野経済研究所資料]

数値データ

(単位：百万円)

		20/3期	21/3期	22/3期
売上高	プロセス事業	3,497	2,584	2,216
	ウェブ事業	2,853	2,599	2,631
	検査機事業	1,906	1,365	1,356
	オプティクス事業	486	1,313	1,489
	その他	31	37	423
	売上高合計	8,775	7,899	8,117
セグメント損益	プロセス事業	736	412	313
	ウェブ事業	547	291	230
	検査機事業	92	-19	35
	オプティクス事業	78	399	401
	その他	0	-1	39
	調整額	-503	-480	-456
セグメント損益合計	952	600	563	

(単位：百万円)

		20/3期	21/3期	22/3期
受注高	プロセス事業	2,870	2,242	2,232
	ウェブ事業	2,664	2,620	3,387
	検査機事業	1,708	1,265	1,429
	オプティクス事業	1,046	1,280	1,888
	その他	27	39	642
	受注高合計	8,317	7,447	9,579
受注残高	プロセス事業	1,514	1,173	1,188
	ウェブ事業	559	580	1,336
	検査機事業	711	611	684
	オプティクス事業	578	544	944
	その他	2	4	223
	受注残高合計	3,367	2,914	4,376

NIRECO